

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1-(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23677報)

2022年 6月 15日 10時 20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日9時54分頃、Eエリア西側のRO濃縮水移送配管から水が滴下していることを協力企業作業員が発見しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見時刻 9時54分頃 ・発生場所(設備名称) Eエリア西側 ・漏えい箇所 RO濃縮水移送配管 ・発見者 協力企業作業員 ・漏えい範囲 約8cm×8cm×深さなし ・漏えい継続の有無 20秒に1滴程度で滴下が継続している ・外部への影響 確認中 <p>現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23678報)

2022年 6月 15日 11時31分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第23677報でお知らせした、RO濃縮水移送配管からの水の滴下について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>当社社員による現場確認を実施し、滴下水をスミア測定した結果、バックグラウンド(210cpm)と同等であること、塩分が含まれていないこと、およびpH6を確認しました。 このことから、11時09分に、滴下した水は雨水または結露水と判断しました。</p> <p>【公表区分: その他】 雨水または結露水であると判断したことから、公表区分を「C」から「その他」に変更しました。</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23679報)

2022年 6月 15日 14時 50分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [6月15日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 6月14日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 6月14日] ・構内排水路 排水路流量と分析結果 [採取日 5月27日~6月2日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 6月10日、14日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 5月30日、6月14日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクD、Eの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、6月16日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 6月10日、11日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年6月15日 11:00現在

【重要事項】
 資料提供については、発生後その後の事業進展の影響を勘案して、情報の利用を断念する
 資料提供については、発生後その後の事業進展の影響を勘案して、情報の利用を断念する
 プラントの稼働を把握するために、このように計測の不安定なデータも含まれており、後段
 の分析結果から得られる情報を活用して事故の復旧にも目処して様々な処置に活用している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系 : 2.4 m ³ /h CS系 : 1.5 m ³ /h	給水系 : 0.0 m ³ /h CS系 : 1.6 m ³ /h	給水系 : 0.0 m ³ /h CS系 : 0.0 m ³ /h	※7 ※7
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1) : 20.4 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1) : 19.7 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2) : 19.9 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3) : 28.2 °C RPV温度 (TE-2-3-69R) : 30.7 °C	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1) : 26.8 °C RPV上部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1) : 24.4 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A) : 19.8 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F) : 19.9 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B) : 28.5 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1) : 28.5 °C	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A) : 24.7 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1) : 24.0 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.23 MPa g	4.16 kPa g	0.48 kPa g	
窒素注入流量 ※3	RPV (RVH-A) : 15.38 Nm ³ /h (RVH-B) : - Nm ³ /h (JP-A) : 14.17 Nm ³ /h (JP-B) : - Nm ³ /h PCV : - Nm ³ /h ※4	RPV-A : 6.43 Nm ³ /h RPV-B : 6.48 Nm ³ /h PCV : - Nm ³ /h ※4	RPV-A : 8.26 Nm ³ /h RPV-B : 8.58 Nm ³ /h PCV : - Nm ³ /h ※4	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	26.6 m ³ /h	16.11 Nm ³ /h	23.26 Nm ³ /h	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系 : 0.00 vol% B系 : 0.00 vol%	A系 : 0.03 vol% B系 : 0.06 vol%	A系 : 0.12 vol% B系 : 0.11 vol%	
原子炉格納容器 放射線濃度 (Xe135) ※2	A系 : 指示値 8.25E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 3.50E-04 Ba/cm ³ B系 : 指示値 5.29E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 3.93E-04 Ba/cm ³	A系 : 指示値 ND Ba/cm ³ 検出限界値 1.3E-01 ND Ba/cm ³ B系 : 指示値 ND Ba/cm ³ 検出限界値 1.3E-01 ND Ba/cm ³	A系 : 指示値 ND Ba/cm ³ 検出限界値 1.9E-01 ND Ba/cm ³ B系 : 指示値 ND Ba/cm ³ 検出限界値 1.9E-01 ND Ba/cm ³	
使用済燃料プール 水温度	24.8 °C	24.2 °C		※5
FPC 注水ノック 水位	3.70 m	4.16 m	m	※6 42.1 X100mm

※1 : 指示値は0.00%以下に設定する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測値によりマイナスイオン濃度を示す場合がある。)

※2 : 原子炉格納容器内水素濃度の測定は、原子炉格納容器内水素濃度を測定する。

※3 : 原子炉格納容器内窒素注入流量は、原子炉格納容器内窒素注入流量を測定する。

※4 : 窒素注入流量は、原子炉格納容器内窒素注入流量を測定する。

※5 : 水位計の指示値は、原子炉格納容器内水位を測定する。

※6 : 水位計の指示値は、原子炉格納容器内水位を測定する。

※7 : 水位計の指示値は、原子炉格納容器内水位を測定する。

2022年6月15日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (Y)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/06/14 07:52	< 5.2E+00	< 2.8E+00	< 4.0E+00
プロセス主建屋北東	2022/06/14 08:21	< 4.7E+00	< 5.0E+00	< 4.7E+00
プロセス主建屋南東	2022/06/14 08:16	< 4.8E+00	< 3.9E+00	< 4.8E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/06/14 08:01	< 4.6E+00	< 5.1E+00	< 3.4E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2022/06/14 08:11	< 5.1E+00	< 4.3E+00	4.4E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/06/14 08:06	< 4.4E+00	< 4.2E+00	< 3.9E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/06/14 07:57	< 5.1E+00	< 5.2E+00	< 4.3E+00

・検体の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E+0とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

2022年6月15日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/06/14 07:30	1.0E+01	< 6.2E-01	7.0E+00
物揚場排水路	2022/06/14 07:35	< 2.8E+00	< 4.2E-01	1.9E+00
K排水路	2022/06/14 07:00	1.2E+01	< 7.4E-01	9.7E+00
BC排水路	2022/06/14 06:00	1.1E+01	< 3.7E-01	< 4.8E-01
5,6号機排水路 ^{※1}	—	—	—	—

- ・核種の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<)：小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
- ・採取当日の降雨量は0 mm
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

2022年6月15日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 排水路流量と分析結果 (全β・H-3・γ)

採取地点	採取日時	降雨量 (mm/日)	流量 (m ³ /秒)	分析項目			
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/05/27 07:50	43.0	—*	4.0E+00	—	< 6.3E-01	4.2E+00
	2022/05/28 07:36	0.0	—*	8.1E+00	—	< 4.1E-01	5.3E+00
	2022/05/29 07:13	0.0	—*	8.2E+00	—	< 5.0E-01	5.3E+00
	2022/05/30 08:03	0.0	—*	5.7E+00	—	< 6.2E-01	4.8E+00
	2022/05/31 07:48	8.5	—*	5.3E+00	—	< 5.7E-01	4.1E+00
	2022/06/01 07:41	0.0	—*	3.5E+00	< 6.7E+00	< 6.4E-01	2.3E+00
	2022/06/02 07:00	10.0	—*	8.5E+00	—	< 6.0E-01	6.2E+00
物揚場排水路	2022/05/27 07:55	43.0	0.091	1.3E+01	—	4.1E-01	9.5E+00
	2022/05/28 07:41	0.0	0.006	< 3.5E+00	—	< 4.2E-01	2.1E+00
	2022/05/29 07:18	0.0	0.006	6.0E+00	—	< 7.8E-01	1.6E+00
	2022/05/30 08:06	0.0	0.006	3.9E+00	—	< 6.5E-01	1.5E+00
	2022/05/31 07:53	8.5	0.008	6.2E+00	—	< 5.6E-01	3.9E+00
	2022/06/01 07:47	0.0	0.006	< 3.1E+00	1.1E+01	< 4.7E-01	2.3E+00
	2022/06/02 07:04	10.0	0.006	< 3.0E+00	—	< 6.1E-01	1.2E+00
K排水路	2022/05/27 06:00	43.0	0.011	1.4E+01	—	< 5.2E-01	8.4E+00
	2022/05/28 06:55	0.0	0.017	4.4E+01	—	9.4E-01	3.7E+01
	2022/05/29 06:00	0.0	0.012	1.4E+01	—	6.2E-01	1.2E+01
	2022/05/30 06:00	0.0	0.010	8.2E+00	—	< 3.8E-01	7.1E+00
	2022/05/31 06:00	8.5	0.012	7.3E+00	—	< 6.5E-01	6.2E+00
	2022/06/01 06:00	0.0	0.011	9.0E+00	1.1E+02	< 5.9E-01	5.0E+00
	2022/06/02 06:00	10.0	0.010	6.4E+00	—	< 6.6E-01	4.8E+00
BC排水路	2022/05/27 06:00	43.0	0.022	1.8E+01	—	8.0E-01	2.0E+01
	2022/05/28 06:00	0.0	0.029	4.9E+00	—	< 5.8E-01	< 7.4E-01
	2022/05/29 06:00	0.0	0.023	< 2.8E+00	—	< 4.7E-01	< 4.5E-01
	2022/05/30 06:00	0.0	0.022	3.9E+00	—	< 5.0E-01	< 7.6E-01
	2022/05/31 06:00	8.5	0.054	< 3.0E+00	—	< 4.0E-01	< 6.1E-01
	2022/06/01 06:00	0.0	0.022	< 3.1E+00	1.0E+01	< 5.0E-01	< 6.4E-01
	2022/06/02 06:00	10.0	0.022	< 3.0E+00	—	< 3.5E-01	< 5.1E-01
5,6号機排水路	—	—	—	—	—	—	—

・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不符号 (<:小なり)は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E+0とは、0.0×10⁺であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・流量以外は既にお知らせ済み。

※ A排水路流量については、データ集計中のため後日報告。

6/13

2022年6月15日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	セシウム同位体濃度 (Bq/L)							Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
			Mn-54	Co-60	Ru-106	Sr-125	Cs-134	Cs-137	Cs-137		
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2022/06/14 07:25	1.4E+04	< 3.0E-01	< 3.1E-01	< 4.1E+00	< 2.1E+00	2.3E+00	7.7E+01	-	-	
No.1-6	2022/06/14 06:20	9.6E+05	< 6.9E+01	8.3E+01	< 2.2E+03	< 1.2E+03	1.1E+04	3.6E+05	-	-	
No.1-8	2022/06/14 07:36	1.3E+04	< 2.1E+00	< 2.2E+00	< 3.0E+01	< 1.2E+01	7.2E+00	2.9E+02	-	-	
No.1-9 ※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-11	2022/06/14 07:32	6.6E+01	< 2.4E-01	< 2.4E-01	< 2.2E+00	< 8.0E-01	< 2.7E-01	2.7E+00	-	-	
No.1-12	2022/06/14 06:36	2.0E+03	< 1.5E+00	< 1.1E+00	< 2.6E+01	< 1.2E+01	2.1E+01	6.8E+02	-	-	
No.1-14	2022/06/14 06:30	3.9E+04	< 3.4E-01	< 3.3E-01	< 3.1E+00	< 1.4E+00	< 4.1E-01	4.9E+00	-	-	
No.1-16	2022/06/14 06:40	1.6E+04	< 3.9E-01	< 4.1E-01	< 6.2E+00	< 2.6E+00	3.8E+00	1.3E+02	-	-	
No.1-17	2022/06/14 07:29	1.0E+05	< 3.4E-01	< 2.5E-01	< 3.6E+00	< 1.3E+00	< 4.1E-01	5.2E+00	-	-	

検出限の半減期: Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約70日), Sr-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

不等号 (<: 小なり) は、検出限界未満 (MD) を表す。

測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

O、O+Eとは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で 31 、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で 3.1 、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で 0.31 と読み。

※1 No.1-9は、取水器による採取であるため、γ測定は実施せず、全βは参考値としてご覧ください。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	その他特種放射物質					Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
			Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)				
1,2号機口エルベイント 汲み上げ水	2022/06/14 07:40	1.6E+05	< 9.9E-01	< 4.4E-01	< 1.0E+01	< 3.2E+00	< 1.1E+00	5.3E+00	—	
No.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-5 *2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2,3号機改修口エル 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-5 *2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3,4号機改修口エル 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

・検体の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<)：小数点は、検出限界未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。

・(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読み。

※2 No.2-5、No.3-5は、取水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてご連絡に測定。

2022年6月15日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所
環境管理部

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	その他放射性核種					Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
				Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)			
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1	2022/06/10 07:05	1.8E+04	3.2E+04	< 2.9E-01	< 2.4E-01	< 4.5E+00	< 2.1E+00	4.0E+09	1.4E+02	-	
No.1-6	2022/06/10 06:37	1.2E+06	5.0E+02	< 1.1E+02	1.3E+02	< 4.1E+03	< 2.3E+03	1.5E+04	5.0E+05	-	
No.1-8	2022/06/10 07:15	1.8E+04	4.9E+03	< 2.3E+00	< 2.2E+00	< 3.0E+01	< 1.3E+01	8.1E+09	2.9E+02	-	
No.1-9 ※1	2022/06/10 07:10	5.3E+01	4.4E+02	-	-	-	-	-	-	6.3E+01	
No.1-11	2022/06/10 07:19	2.5E+01	6.9E+02	< 3.4E-01	< 3.1E-01	< 3.1E+00	< 1.3E+00	< 3.7E-01	3.3E+00	-	
No.1-12	2022/06/10 06:40	1.4E+03	2.0E+04	< 1.1E+00	< 1.3E+00	< 1.9E+01	< 1.0E+01	1.3E+01	4.2E+02	-	
No.1-14	2022/06/10 06:30	2.2E+04	2.1E+04	< 3.8E-01	< 3.4E-01	< 4.6E+00	< 2.0E+00	9.8E-01	3.3E+01	-	
No.1-16	2022/06/10 05:45	1.8E+04	< 1.1E+02	< 3.7E-01	< 4.4E-01	< 5.9E+00	< 2.7E+00	3.8E+00	1.5E+02	-	
No.1-17	2022/06/10 07:00	1.0E+05	1.5E+04	< 3.3E-01	< 2.5E-01	< 4.7E+00	< 2.2E+00	3.9E+00	1.9E+02	-	

・検出限界の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約30年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不符号 (<)：小検出、検出限界未満 (ND)を意味する。

・測定対象外および採取中止の理由は「-」と記す。

・O.O.E.H.Oとは、 0.0×10^{-10} であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読み。

・H-3以外の観測孔にお知らせ済み。

※1 No.1-9は、検出限界による採取であるため、測定は実施せず、全βは参考値としての項後に測定。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

観測地点	採取日時	分析項目										単位								
		全β	H-3	Mn-54	Co-60	Ru-106	Sb-125	Cs-134	Cs-137	その他放射性核種										
		(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)
1,2号機ウエルポイント 観測上付水	2022/06/10 07:22	1.4E+05	1.5E+04	< 6.2E-01	< 3.4E-01	< 6.2E+00	< 2.3E+00	< 7.2E-01	4.2E+00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-5 *2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-6	2022/06/10 07:26	4.5E+02	8.4E+02	< 3.4E-01	< 2.9E-01	< 2.8E+00	< 9.7E-01	< 2.9E-01	8.7E-01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-7	2022/06/10 07:31	4.0E+02	1.2E+03 *	< 3.6E-01	< 3.3E-01	< 3.3E+00	< 1.2E+00	< 3.6E-01	1.7E+00	5.5E+02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2,3号機改修ウエル 観測上付水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-5 *2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3,4号機改修ウエル 観測上付水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

検出限界の半減期: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

不平等 (<: 小数点) は、検出限界未満 (ND) を表す。

補正対象外および採取中の項目は「-」と記す。

Ox-OEとは、 0.0×10^{00} であることを意味する。

[例] 3.1E+01は 3.1×10^{01} で31, 3.1E+00は 3.1×10^{00} で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-01} で0.31と読み。

H-3以外は単位はBq/Lと表示。

*2 No.2-5, No.3-5は、採水期による採取であるため、測定は実施せず、全βは参考値としての裏面に記載。

* 過去最高値

「護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)」および「2020年8月31日以前公表資料」

「福島第一原発内、排水口付近、護岸の放射線分析結果 (護岸地下水)」で過去に示した値との比較

10/13

2022年6月15日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/06/14 08:00	—	< 5.7E-01	< 5.8E-01
1F 6号機取水口前	2022/06/14 07:50	< 1.3E+01	< 2.5E-01	5.4E-01
1F 物揚場前	2022/06/14 07:40	< 1.3E+01	< 2.6E-01	5.5E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/06/14 07:25	< 1.3E+01	< 3.4E-01	3.4E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2022/06/14 07:20	< 1.3E+01	< 3.1E-01	6.8E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/06/14 06:55	9.4E+00	< 7.0E-01	< 6.8E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/06/14 06:38	1.5E+01	< 3.8E-01	< 3.4E-01
1F 港湾中央	2022/06/14 06:34	2.2E+01	< 3.4E-01	8.8E-01
1F 港湾内東側	2022/06/14 06:36	< 1.3E+01	< 2.4E-01	9.0E-01
1F 港湾内西側	2022/06/14 06:32	< 1.3E+01	< 2.1E-01	3.6E-01
1F 港湾内北側	2022/06/14 06:30	< 1.3E+01	< 3.3E-01	< 3.1E-01
1F 港湾内南側	2022/06/14 06:40	< 1.3E+01	< 2.8E-01	3.5E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける, Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年6月15日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/05/30 09:06	1.1E+01	< 3.3E-01	< 4.5E-01	< 6.0E-01
1F 6号機取水口前	2022/05/30 08:48	< 1.2E+01	< 2.5E+00	< 3.2E-01	< 3.6E-01
1F 物揚場前	2022/05/30 08:11	1.4E+01	< 1.8E+00	< 3.1E-01	7.1E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/05/30 08:28	< 1.2E+01	< 2.5E+00	< 3.2E-01	2.9E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2022/05/30 08:20	1.4E+01	3.8E+01	< 3.3E-01	4.1E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※ (注)	2022/05/30 09:40	1.1E+01	< 3.2E-01	< 7.1E-01	< 7.3E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/05/30 06:33	< 1.2E+01	< 1.8E+00	< 2.8E-01	< 2.3E-01
1F 港湾中央	2022/05/30 06:29	1.5E+01	< 1.8E+00	< 3.0E-01	6.2E-01
1F 港湾内東側	2022/05/30 06:31	1.3E+01	< 1.8E+00	< 2.8E-01	< 3.8E-01
1F 港湾内西側	2022/05/30 06:27	< 1.2E+01	< 1.8E+00	< 3.1E-01	< 3.5E-01
1F 港湾内北側	2022/05/30 06:25	< 1.2E+01	< 1.8E+00	< 3.0E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内南側	2022/05/30 06:36	1.3E+01	< 1.8E+00	< 3.5E-01	5.9E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2022/05/30 06:56	< 1.2E+01	—	< 2.8E-01	< 3.4E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/05/30 07:02	1.6E+01	—	< 2.6E-01	< 3.2E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/05/30 07:47	< 1.2E+01	—	< 2.6E-01	< 3.1E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/05/30 07:41	< 1.2E+01	—	< 2.7E-01	< 2.9E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2022/05/30 07:37	< 1.2E+01	—	< 2.5E-01	< 2.9E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。
- ・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、H-3, Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

(注) 地下水バイパス排水の翌朝採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている。

(2014年10月19日以降)

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

12/13

2022年6月15日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目				
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 Y核種
一時貯水タンク (サブドレンタンク)	D 2022/06/10 08:10	1,150	東京電力 東北緑化環境保全(株)	< 2.0E+00	5.9E+02	< 5.3E-01	< 6.0E-01	検出なし
				< 3.7E-01	6.5E+02	< 6.7E-01	< 5.7E-01	検出なし
	運用目標			3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと ※2
	告示濃度限度 ※3				6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	
	WHO飲料水水质ガイドライン				1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・0.0E+0とは、0.0x10⁺⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1x10⁺¹で31, 3.1E+00は3.1x10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1x10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

13/13

2022年6月15日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目					その他 Y核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
一時貯水タンク (サブドレンタンク)	E 2022/06/11 07:58	930	東京電力	< 2.0E+00	5.8E+02	< 7.2E-01	< 6.9E-01		検出なし
			東北電力環境保全(株)	< 3.4E-01	6.2E+02	< 6.3E-01	< 6.1E-01		検出なし
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00		検出されないこと ※2
告示濃度限度 ※3					6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01		
WHO飲料水水质ガイドライン					1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01		

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<・小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄；周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23680報)

2022年 6月15日 14時50分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上流側立坑の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。</p> <p>・1号機、2号機放水路 分析結果 [採取日 6月13日]</p> <p>今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。</p> <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2022年6月15日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

1号機, 2号機放水路 分析結果

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機放水路立坑水	上流側	2.1E+03	< 1.2E+02	4.7E+01	1.9E+03
	下流側	2.0E+03	3.3E+02	2.6E+01	7.1E+02
2号機放水路立坑水	上流側	7.1E+02	< 1.2E+02	1.2E+01	3.5E+02
	下流側	1.3E+02	< 1.2E+02	< 5.4E+00	3.0E+01

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは, $O.O \times 10^{±O}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。